

REDCapの特長や機能についてご紹介します！

REDCapは、データ収集・管理システム構築するためのオンラインツールで、医学アカデミアにおける「安価」かつ「高性能」な国際標準EDCシステムです

無作為割付も自動で

中央データセンター機能

無作為自動割り付け

個人情報保護対応

HIPAA(個人情報保護法)対応
電子署名

電カルからデータの自動取り込み
※本学は未対応

テンプレートにより臨床研究データ登録
画像データの取り込み可能
多施設共同研究にも対応し、
同時入力も可能

PCや携帯からでも使える

簡易アクセス機能

自宅のパソコンや携帯
電話からでも登録や変更が可能

モニタリング機能

研究の進捗管理も一目でOK

一目で分かる研究進行状況管理
研究スケジュール管理
データ入力エラー検出
2重登録チェック

遠隔支援も可能

監査機能

臨床研究遠隔支援
フル監査証跡

取扱が簡単

臨床研究の様々なシーンで利用



大規模な
・患者登録
・調査、研究
が可能

関連書類・画像の管理も一元化

文書・画像一元管理機能
研究プロトコル
倫理審査書類など

患者調査票作成・管理

その他の支援機能

アンケート調査票の作成
統計グラフ・レポート作成

Research Electronic Data Capture

煩雑な臨床研究の負担を軽減できるツール

* 研究のモニタリングや監査、研究記録の保存、種々の書面・画像の保存が可能

* 医師・看護師などIT専門家でなくとも簡単に利用できる臨床研究支援ツール

第3回日本REDCapシンポジウム大阪市大：新谷歩先生・太田恵子先生発表資料引用

世界で128か国
3,000施設
80万人が活用

REDCapは誰でも、いつでも、簡単に利用できます。利用を開始したい場合には、

①「ID申請」をしましょう！

②プロジェクト入力フォームが完成したら「本稼働移行申請」をしてください！

必要な手続きはこちらから⇒ <https://info2.fujita-hu.ac.jp/rpsc-shien/redcap.html>

利用上の注意点（契約内容から一部のみ抜粋）

- 利用が許可されているのは、契約を締結している本学の教職員・指導教員申請による学生のみ
- REDCapは研究の主体（主任研究者など）が本学であり、非営利の研究の場合のみ利用が可能です。
- 自施設のREDCapを学外提供する事は出来ません。
- 本学内での業務や教育を目的とする利用も許可されています
- 共同研究者に対するアクセスも許可されていますので、多施設共同研究などでもご利用頂く事が可能です。